

# 京都SDGsパートナー登録証



株式会社アクシストは、  
SDGs、CO<sub>2</sub>ゼロに  
取り組むことを宣言します。

## ●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

薬局と訪問看護ステーションの運営を通じて、地域住民の健康維持・増進に貢献するとともに、地域医療機関と連携し、切れ目のない医療サービスを提供することで、より豊かな地域社会の実現を目指します。さらに、省エネや医療廃棄物の削減など、環境負荷低減に取り組み、SDGsの目標達成に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めていきます。

## ●SDGsに関する重点的な取組●

【経済】地域住民の健康維持増進を目的に、ジェネリック医薬品の推奨や地元企業との連携強化を積極的に行っています。薬剤師による丁寧な服薬指導や、地域住民向けの健康セミナー開催などを通じて、ジェネリック医薬品の普及を図り、薬剤費の削減に貢献します。また、地元企業との連携を深め、地域経済の活性化にも努めています。

【社会】地域住民への健康教育や予防接種の推進を積極的に行います。薬剤師が地域イベントで健康相談会を開催することで、健康意識の向上と生活習慣病予防を図ります。これらの取組を通じて、健康寿命の延伸と地域社会の活性化に貢献し、SDGsの目標達成を目指します。

【環境】プラスチック包装削減や再利用可能な容器の導入、エネルギー効率の良い設備の導入を通じて「つくる責任つかう責任」や「気候変動対策」を推進します。スタッフには定期研修を実施し、リサイクル、節電・節水、ペーパーレス化、マイボトルやエコバッグの使用など、環境に配慮した行動を促進し持続可能な社会へ貢献します。

## ●文化や地域活動に関する重点的な取組●

地域住民を対象に、健康効果など薬草の魅力についての情報をSNS（Instagram等）を通じて発信し、地域住民に薬草を身近に感じていただき、さらに地元農家での薬草栽培の普及を図っています。これにより、地域の文化資源である薬草を保護し、地域住民の健康増進とともに、地域経済の活性化にもつながると考えています。

※ 記載の取組内容やその効果、登録者自体を保証するものではありません。

登録番号 00516

登録期間 2024年12月13日 ~ 2026年12月12日

株式会社アクシスト



京都超SDGs  
コンソーシアム



京都市  
CITY OF KYOTO

京都SDGsパートナー制度は、オール京都でSDGsを推進する「きょうとSDGsネットワーク」を構成する制度の1つです。SDGsの社会実装を目指す産学公連携組織「京都超SDGsコンソーシアム」と京都市が連携し、実施しています。

